自然に学び 自然を守る
クミカ

3成分 | ノビエ3葉期まで | 田植同時※1キロ粒剤のみ | 移植直後※1キロ粒剤のみ | 直播 | WCS使用可 | 無人航空機※ジャンボ剤を除く

水稲用 初・中期一発処理除草剤

アカツキ®

1キロ粒剤 豆つぶ®250 ジャンボ フロアブル

米づくりに、希望の光。

アルテア配合
アルテア
（塊茎形成抑制作用）

エフィーダ®
（茎葉白化作用）

フェノキサスルホン®
（ノビエ残効性）

3つの高い除草効果

※商品画像はイメージです。®はクミアイ化学工業（株）の登録商標
アルテアは日産化学（株）の登録商標

除草剤分類 15,27,2

水稲用 初・中期一発処理除草剤

アカツキ®

1キロ粒剤
豆つぶ250
ジャンボ
フロアブル

●有効成分：フェノキサスルホン…2.0%(1キロ粒剤)、8.0%(豆つぶ・ジャンボ)、3.8%(フロアブル)
フェンキノトリオン…3.0%(1キロ粒剤)、12.0%(豆つぶ・ジャンボ)、5.7%(フロアブル)
メタゾスルフロン…1.0%(1キロ粒剤)、4.0%(豆つぶ・ジャンボ)、1.9%(フロアブル)
●人畜毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指していう通称)

特　長

●有効成分「エフィーダ®(一般名：フェンキノトリオン)」を配合した3成分の混合剤です。
●エフィーダの作用によりコナギやミズアオイなどの広葉雑草、ホタルイなどのカヤツリグサ科雑草にも高い効果を示します。
●アルテアを配合することにより、クログワイ、オモダカ、コウキヤガラなど難防除多年生雑草に高い効果を示し、地上部だけでなく地下部も抑制します。
●フェノキサスルホンを配合することによりノビエに優れた除草効果と長期残効性を示します。

適用雑草及び使用方法

2026年5月現在の登録内容

※各有効成分を含む農薬の総使用回数:フェノキサスルホン2回以内、フェンキノトリオン2回以内、メタゾスルフロン2回以内

■1キロ粒剤(農林水産省登録 第24566号)

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草 多年生広葉雑草 アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	1kg	1回※	田植同時散布機で施用
		移植直後～ノビエ3葉期 但し、収穫60日前まで			湛水散布又は 無人航空機 による散布
直播水稲	一年生雑草及び マツバイ、ホタルイ、ウリカワ ミズガヤツリ、ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ノビエ3葉期 但し、収穫60日前まで			

■豆つぶ250(農林水産省登録 第24567号)

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草及び多年生広葉雑草	移植後3日～ノビエ3葉期 但し、収穫60日前まで	250g	1回※	湛水散布、 湛水周縁散布、 水口施用又は 無人航空機による散布
直播水稲	一年生雑草及び ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ノビエ3葉期 但し、収穫60日前まで			湛水散布又は 無人航空機 による散布

■ジャンボ(農林水産省登録 第24568号)

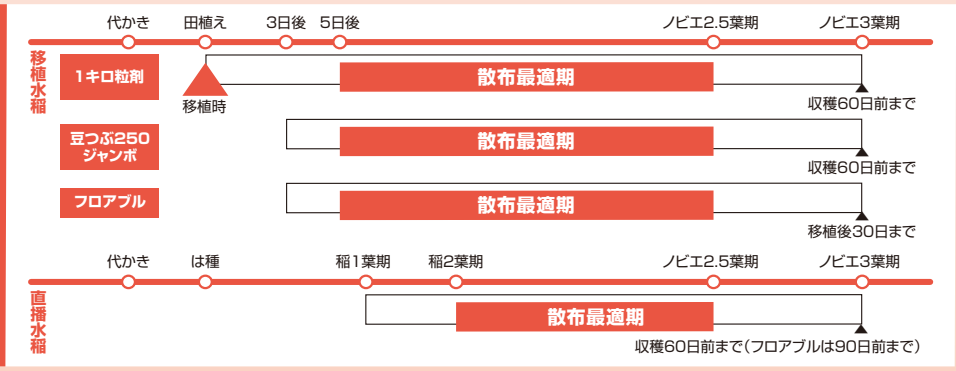
作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草及び多年生広葉雑草	移植後3日～ノビエ3葉期 但し、収穫60日前まで	小包装(パック) 10個 (250g)	1回※	水田に小包装(パック) のまま投げ入れる。
直播水稲	一年生雑草及び ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ノビエ3葉期 但し、収穫60日前まで			

■フロアブル(農林水産省登録 第24569号)

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草 多年生広葉雑草 アオミドロ・藻類による表層はく離	移植後3日～ノビエ3葉期 但し、移植後30日まで	500mℓ	1回※	原液湛水散布、 水口施用又は 無人航空機による滴下
直播水稲	一年生雑草及び マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ノビエ3葉期 但し、収穫90日前まで			原液湛水散布又は 無人航空機による滴下

■上手な使い方

標準的な使用時期



■使用上の注意(抜粋)

【共通】
●本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3葉期までに、時期を失しないように使用してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に使用してください。ホタルイ、ヘラオモダカは3葉期まで、ウリカワは2葉期まで、ミズガヤツリ、クログワイ、コウキヤガラ、シズイ、ナガエツルノゲイトウ(1キロ粒剤)は草丈10cmまで、オモダカは矢尻葉1葉期まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生期まで、アオミドロ・藻類による表層はく離(1キロ粒剤・フロアブル)は発生前までが本剤の使用適期です。
●オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、シズイは発生期間が長く、遅い発生のものまでは十分な効果を示さないので、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
●苗の植付けが均一となるように、代かき及び植付作業はていねいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行ってください。
●以下のような条件下では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。
○異常高温の時、あるいは散布後数日以内に梅雨明けになるなど異常高温が予想される時 ○活着遅延を生じるような異常低温の時 ○砂質土壌の水田および漏水田(減水深2cm/日以上) ○軟弱苗を移植した水田 ○極端な浅植えの水田および浮き苗の多い水田 ○植穴の戻りの悪い水田
●直播水稲に使用する場合、以下の点に注意してください。
○稲の根が露出した条件では薬害を生じるおそれがあるので使用をさけてください。○除草効果の低下と生育抑制の薬害が発生するおそれがあるので、入水後水持ちの安定した後に使用してください。
●梅雨時期等、使用後に多量の降雨が予想される場合は、除草効果が低下するおそれがあるので使用をさけてください。
●使用した水田の田面水を他の作物の灌水に使用しないでください。
●本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分に注意してください。
●いぐさ栽培予定水田では本剤を使用しないでください。
●使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用してください。特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。
【1キロ粒剤】
●散布の際は、水の出入りを止めて湛水状態のまま田面に均一に散布し、散布後3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください。
【1キロ粒剤・豆つぶ250】
●無人航空機で散布する際は以下に注意してください。
○湛水散布は使用機種の使用基準に従って実施してください。○専用の粒剤散布装置によって湛水散布してください。○事前に薬剤の物理性に合せて粒剤散布装置の開度を調整してください。○散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、当該水田周辺部への飛散防止のため散布装置のインペラの回転数を調整し、ほ場の端から5m以上離してほ場内に散布してください。○水源池、飲料用水などに飛散、流入しないように十分注意してください。
【豆つぶ250】
●湛水散布の場合は田面に散布し、また、湛水周縁散布の場合は、水田周縁部に沿って帯状に散布し、散布後3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください。
●藻類・表層はく離などの水面浮遊物が多い場合は、本剤の拡散が不十分になるおそれがあるため、水田全面に散布してください。
●吸湿性があるので、散布時に降雨の場合には濡れないように注意して散布してください。濡れた手で扱わないでください。また、開封後は早めに使用してください。
【豆つぶ250・ジャンボ】
●散布の際は、やや深めの湛水状態(水深5～6cm)にして水の出入りを止めてください。
【ジャンボ】
●散布後少なくとも3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください。
●小包装(パック)のまま10アール当り10個の割合で水田に均一に投げ入れてください。
●藻類・表層はく離、浮き草などの水面浮遊物が多い場合は、拡散が不十分になるおそれがあるため、使用はさけてください。
●パックに使用しているフィルムは水溶性なので、濡れた手で作業したり、降雨で破袋することがないように注意してください。
【豆つぶ250・フロアブル】
●水口施用の場合は、あらかじめ1～2cm程度水深を確保した状態で、入水時に本剤を水口に施用し、流入水とともに水田全面に拡散させ、処理後田面水が通常の湛水状態(水深3～5cm)に達した時に必ず水を止め、田面水があふれ出ないよう注意してください。処理後少なくとも3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、処理後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
●水口に対して向かい風が吹いている場合は、本剤の拡散が不十分になるおそれがあるため水口施用をさけてください。
【フロアブル】
●使用に当っては、使用前に容器をよく振ってください。
●水口施用以外の使用方法の場合は、水の出入りを止めて湛水状態(水深3～5cm)のまま水田全面にゆきわたるように処理してください。処理後3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、処理後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください。
●ストレーナー・メッシュフィルターを介する散布装置の使用はさけてください。
●無人航空機で滴下する際は以下に注意してください。
○滴下は使用機種の使用基準に従って実施してください。○滴下に当っては散布装置のノズルを取り外してください。○作業中、薬液の漏れのないように機体の配管その他装置の十分な点検を行ってください。○機体の配管その他散布装置への薬液の固着を防止するため、薬液をタンクに投入後は、速やかに滴下を始めてください。○隣接するほ場に水稲以外の作物が栽培されている場合は、他の植物に影響を与えないように風の影響等を十分考慮して滴下してください。○水源池、飲料用水などに飛散、流入しないように十分注意してください。○薬剤滴下に使用した装置は十分洗浄し、薬剤タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。○滴下に使用した無人航空機の散布装置は、水稲以外の作物への薬剤散布には使用しないでください。
●蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。

詳しい使い方、
登録内容とSDSは
こちらから。

●使用前にはラベルをよく読んでください。　●ラベルの記載以外には使用しないでください。　●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。　●防除日誌を記帳しましょう。

本資料は2026年5月現在の知見に基づき作成しています。　2597(26-5)

JAグループ
農協 | 全農 | 経済連
全農は登録商標　第4702318号

自然に学び　自然を守る
クミアイ化学工業株式会社
本社:東京都台東区池之端1-4-26　〒110-8782　TEL03-3822-5036
ホームページアドレス　https://www.kumiai-chem.co.jp